

適用規格																													
定 格	使用温度範囲	-35℃～ + 85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ + 60℃ (注2)																									
	電 圧	AC 50 V	適合コネクタ	DF17#(**)-*DS-0.5V(57)																									
	電 流	0.3 A																											
性 能																													
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT																								
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○																								
	表示	目視にて確認する。		○	○																								
電氣的性能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	60 mΩ以下	○	—																								
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—																								
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—																								
機械的性能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	<table><tr><th>極数</th><th>挿入力 (N)以下</th><th>抜去力 (N)以上</th></tr><tr><td>20</td><td>200</td><td>2.0</td></tr><tr><td>30</td><td>300</td><td>3.0</td></tr><tr><td>40</td><td>400</td><td>4.0</td></tr><tr><td>50</td><td>500</td><td>5.0</td></tr><tr><td>60</td><td>600</td><td>6.0</td></tr><tr><td>70</td><td>700</td><td>7.0</td></tr><tr><td>80</td><td>800</td><td>8.0</td></tr></table>	極数	挿入力 (N)以下	抜去力 (N)以上	20	200	2.0	30	300	3.0	40	400	4.0	50	500	5.0	60	600	6.0	70	700	7.0	80	800	8.0	○	—
	極数	挿入力 (N)以下	抜去力 (N)以上																										
	20	200	2.0																										
	30	300	3.0																										
	40	400	4.0																										
50	500	5.0																											
60	600	6.0																											
70	700	7.0																											
80	800	8.0																											
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																								
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																								
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																								
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②絶縁抵抗：250 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																								
	温度サイクル	温度 -55 → 5～35 → 85 → 5～35℃ 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																								
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 250℃ピーク 220℃以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150～180℃ 90～120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田（リペア）の場合 】 半田ごてで 350℃、3秒の条件にて半田付け を行う。但し、端子に力を加えないこと。	外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	○	—																								
	二酸化硫黄	濃度10ppm、96時間放置する。 (試験規格： J E I D A - 3 9)	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②はなはだしい腐食がないこと。	○	—																								
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②はなはだしい腐食がないこと。	○	—																								
	備考																												
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。																													
(注2) 保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は、使用温度範囲が適用 されます。																													
試験規格の記載のない試験方法は J I S C 5 4 0 2を適用しています。																													
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日																								
△																													
			承認	MO.NAKAMURA	05.11.09																								
			検 図	TS.MIYAZAKI	05.11.09																								
			担 当	YH.MICHIDA	05.11.09																								
			製 図	HK.MURAKAMI	05.11.08																								
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-162141-07																									
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF17B(4.0)-*DP-0.5V(57)																									
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	△ 1/1																									